

14 教育・福祉複合施設整備事業

教育と福祉の連携を図り、多様化する行政ニーズに対応するため、教育と福祉の複合施設をPFI事業により、新たに新設することとし、平成24年4月の供用開始予定で整備を進めていた。

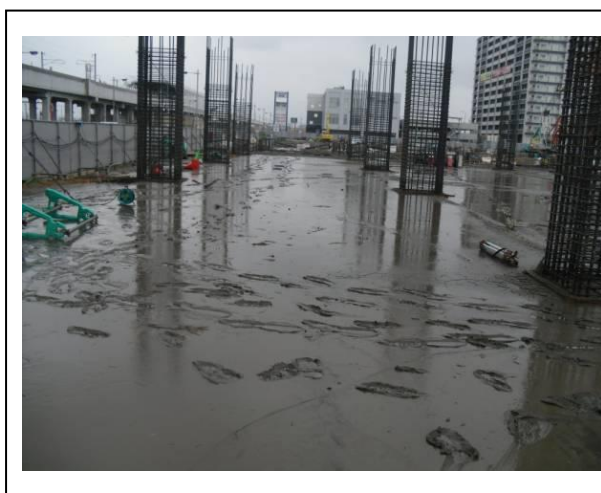
- i 建設場所：名取市美田園二丁目
- ii 入居機関：(仮称)総合教育センター、美田園高等学校、子ども総合センター、中央児童相談所及びリハビリテーション支援センター
- iii 敷地面積：約28,000 m² ・延べ床面積：21,325.53 m²



(1) 被害状況の確認

3月11日21時ごろ、事業者であるみやぎ教育福祉パートナーズ株式会社を通じて建設現場の状況を確認したところ、現場に津波(1m程度)が押し寄せたが、人的被害はなかったことが確認された。また、その後の事業者からの報告により、建設現場に汚泥や流木等が流入し散乱し、仮設事務所や作業員休憩所等が損傷した状況であることが判明した。

※3月11日時点での工事進捗率は約10%で、工事は工程どおり順調に進んでいた。



(現場内に汚泥が流入した状況)



(作業員休憩所内の状況)

(2) 発災後の対応状況

建設現場の状況から、建設工事の一時中止を指示（3月18日から一時中止）した。その後、仮設復旧作業を4月25日から6月30日まで実施し、現場内の汚泥、流木等の片付け、清掃及び既済工事部分等の水洗い、仮設事務所や作業員休憩所の復旧作業等を行なった。

(3) 被害状況等調査

調査（5月27日から7月15日まで）の結果、コンクリート打設部分にひび割れ、施工済みの鉄筋及び仮置き鉄筋に錆び、埋設配管等に汚泥の侵入及び一部損傷等が判明したが、構造的に問題となる被害はなく、工事再開は可能であった。ただし、本格復旧工事に約2か月、工事再開後の冬期コンクリート工事で約1か月程度工期延長が必要となった。

(4) 教育委員会（8月12日）及び県議会文教警察委員会及び保健福祉委員会（8月22日）へ以下の報告を行なった。

イ 被害状況の確認（上記（1）のとおり）

ロ 発災後のこれまでの対応状況（上記（2）のとおり）

ハ 施設の安全性

- ・ 地震に係る施設の安全性（震度6～7の地震でも機能確保が図られる施設）
- ・ 津波に係る施設の安全性（今回と同様の津波を想定した場合）

※1 1階部分は浸水の可能性があるが、施設の倒壊や流出等は想定されず、県民を2階以上の安全な場所に移動させる時間は確保できると考えられる。

※2 防災機能の強化を検討する（備蓄庫、非常電源の設置等）

(5) 本格復旧工事の期間

9月11日から11月中旬までの予定で工事に着手し、震災発生前の状態に戻したうえで、建設工事を再開し、平成25年4月の供用開始を目指すことになった。